

コンテンツの

サミット開催

経済産業省は23日、コンテンツを世界に発信するための報告書をまとめた。各国が連携を検討する国際会議「コンテンツ・ビジネス・サミット（仮称）」の開催などを提案している。アジア各国との連携強化により、国内コンテンツ産業の世界展開を後押しする狙いだ。

市場が頭打ち状態にあるため、10%台の成長を続ける中国など世界市場への進出の必要性を指摘している。具体的には、9月30日～10月28日に都内を中心に開く「JAPAN国際コンテンツフェスティバル」においてサミットの開催を明記。サミットでは日本、中国、韓国、シンガポール、香港の4カ国1地域から映画や放送業界のトップらを招き、国際共同製作の促進やインターネット上の知財保護制度などについて話し合う。国際共同製作では日本の原作を香港で映像化し、中国で販売するなど各国の強みを生かした方法を検討する。

平成20年9月24日(木)

産経新聞 朝刊 10面